

■ 令和 7 年度の運行概要

事業の名称	西福田デマンド交通実証実験
事業主体	西福田さいこうプロジェクト推進協議会（地域団体）、名古屋市、名古屋大学、名古屋鉄道(株)、名鉄タクシーホールディングス(株)、中央復建コンサルタンツ(株)からなる共創グループ
運行事業者	名鉄交通第三株式会社（中川区東起町） 代表者 浅野丈夫 名古屋近鉄タクシー株式会社（中区栄） 代表者 仲井隆
運行形態	乗合タクシー（区域運行型）
運行期間	令和7年8月18日から令和8年2月17日まで 平日、土、日、祝
運行時間	8時30分～18時30分
事業許可	道路運送法第21条
利用対象者	限定しない
運行車両	常用車両：ワゴン型車両（乗車定員 8 名） 1 両 応援車両：JPNタクシー2両及びクラウンセダン3両（いずれも乗車定員3名）。既存乗用事業と兼用
運行区域	西福田学区、近鉄蟹江駅、イオンモール名古屋茶屋（南陽交通広場）、イオン南陽店、南陽支所、ファミリーマート名古屋港南陽店、キョーワ薬局港店、J A なごや南陽町支店
停留所	49か所（学区内42か所、学区外7か所）
運行回数	WEB予約サイト又は電話による予約に応じて運行
運賃	1乗車300円 本市の敬老優待カードを提示の65歳以上：1乗車100円、6歳未満：無料 福祉特別乗車券：無料、回数券：11回乗車分3,000円
支払方法	現金、交通系IC、回数券による現地払い ※応援車両は現金のみ

■ 運行区域

- 西福田学区
- ★ 学区外乗降場所 (7か所)



■これまでの取組

実証実験 1 年目

期間 令和 6 年度 1 1 月～ 2 月の 3 か月間

目的 Dバス及びそのサービス内容の認知

運賃 3 0 0 円／回・ 6 歳未満は無料

割引 無料券（利用促進券）の配布
使用可能期間は前半 1. 5 か月
各世帯 4 回乗車分を配布

実証実験 2 年目

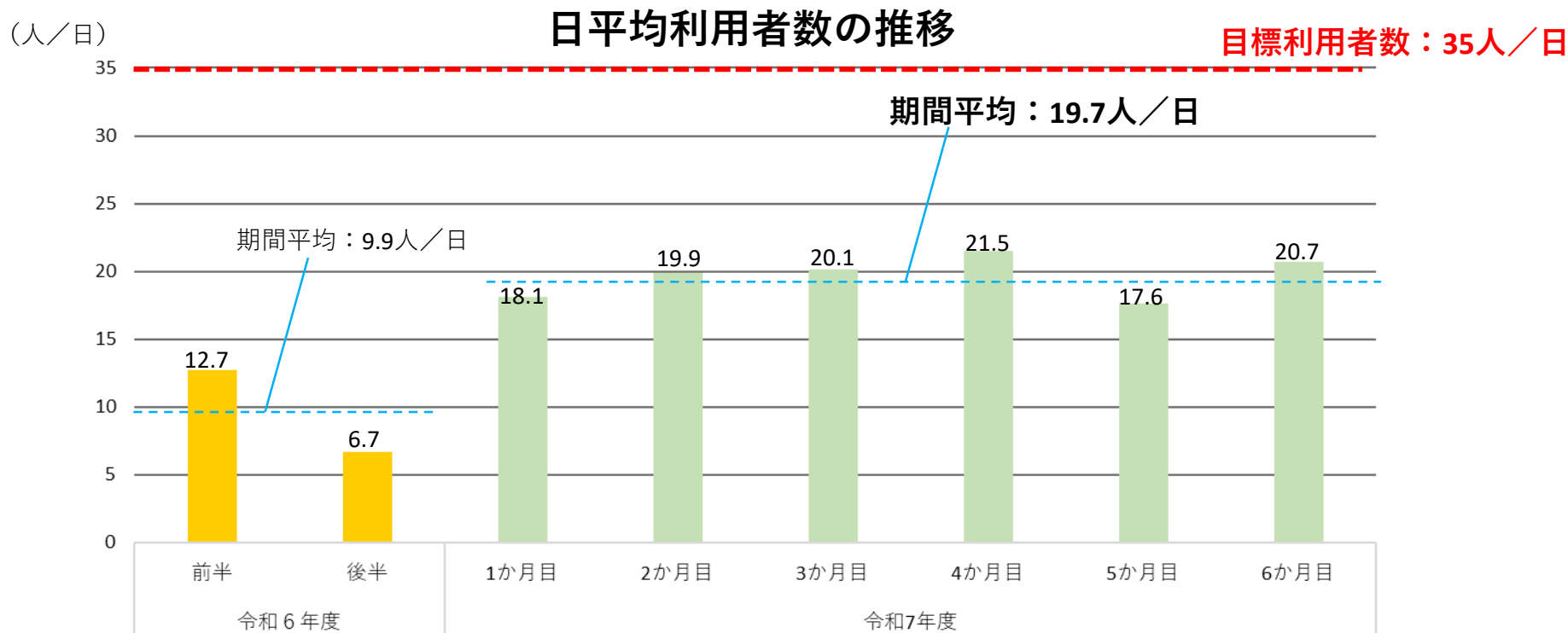
期間 令和 7 年度 8 月～ 2 月の 6 か月間

目的 ・新たな利用促進策による利用者数の増加
及び認知度向上
・運賃体系の変更による利用者数変化の確認

運賃 3 0 0 円／回・ 6 歳未満は無料

割引 ・敬老優待カード提示で 1 0 0 円
・福祉特別乗車券及び（介）の提示で無料

その他 定時デマンドの実施
近鉄蟹江駅の発車時刻を固定（1 7 時 3 0 分）



■ 令和7年度の実験結果

集計日	R7.8.18～R8.2.17
運行日数	184日
予約件数	3,105件
運行回数	2,639回
うち、乗合回数 ※1予約2名以上の利用を除く	362回（ 13.7% ）
延べ利用者数	3,621人
日平均運行回数	14.3回／日
日平均利用者数	19.7人／日
平均乗車人員	1.4人／便

（参考）西福田学区の基礎データ

都市計画区域	市街化調整区域	—
面積	約4.4km ²	統計年鑑 (R8.2)
世帯数	1,356世帯	
総人口	4,380人	R2 国勢調査
65歳以上	約42%	

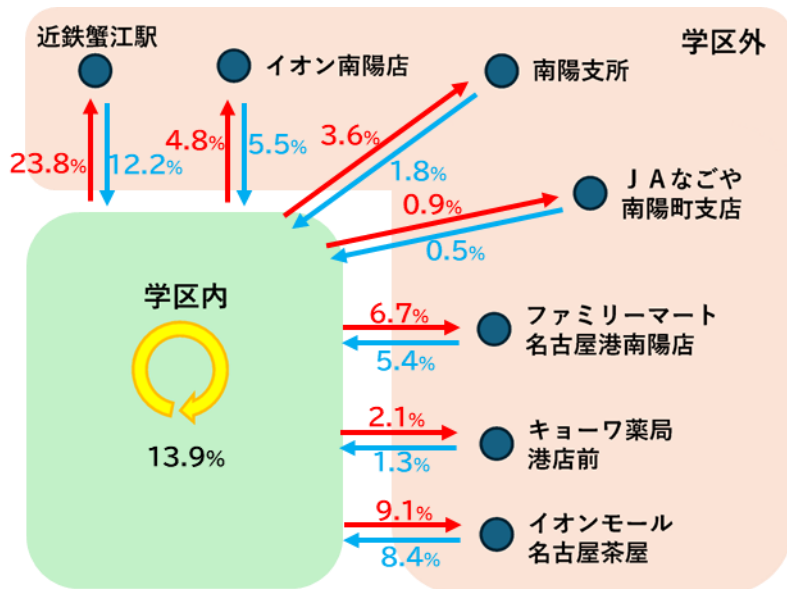
支払区分別の利用状況

区分		延べ 利用者数	割合	実利用者数	割合
65歳以上※	100円	1,891人	52.2%	144人	44.3%
6～64歳	300円	1,164人	32.2%	164人	50.5%
6歳未満	無料	30人	0.8%	0人	0%
福祉特乗車券	無料	536人	14.8%	17人	5.2%
計		3,621人	100%	325人	100%

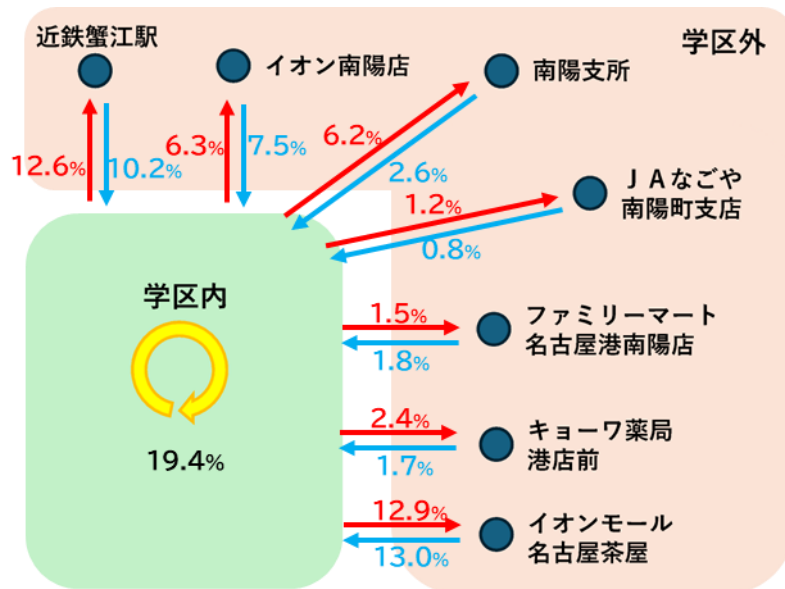
※本市の敬老優待カード提示により割引が適用された者

ODの割合

全年齢

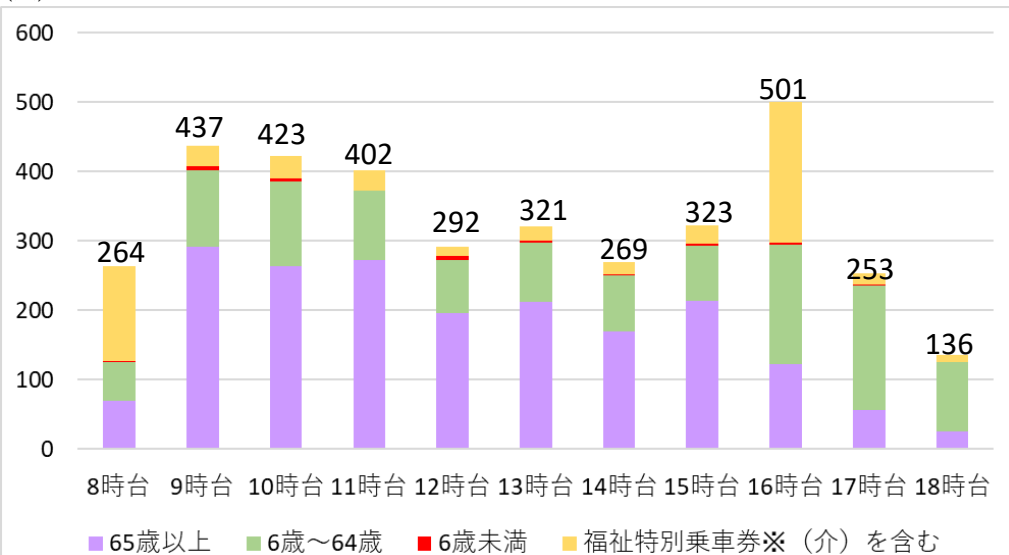


65歳以上 (1,891人)

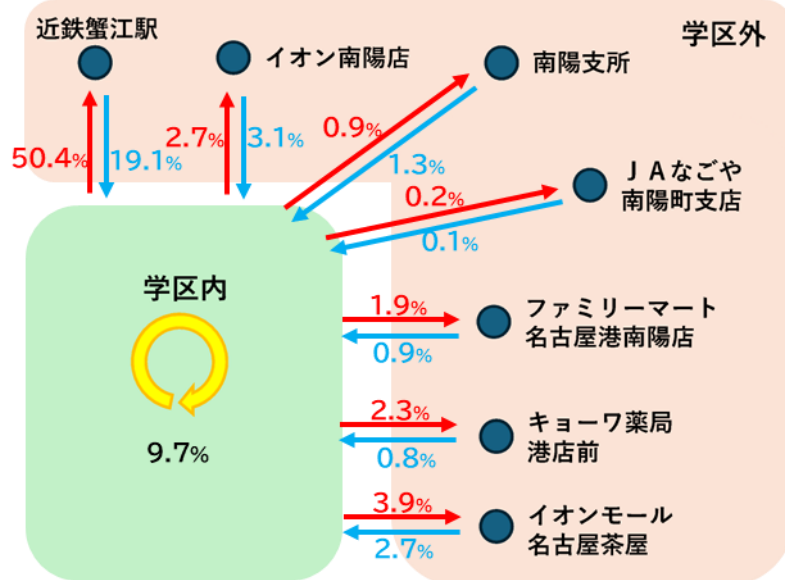


時間帯・属性別利用者数

(人)



6～64歳 (1,164人)



■ 葉の交通としての役割

○ 幹・枝の交通への接続

- ・ 幹（近鉄蟹江駅）と枝（南陽交通広場、河合小橋）に関する移動が移動全体の過半数 **54.5%**

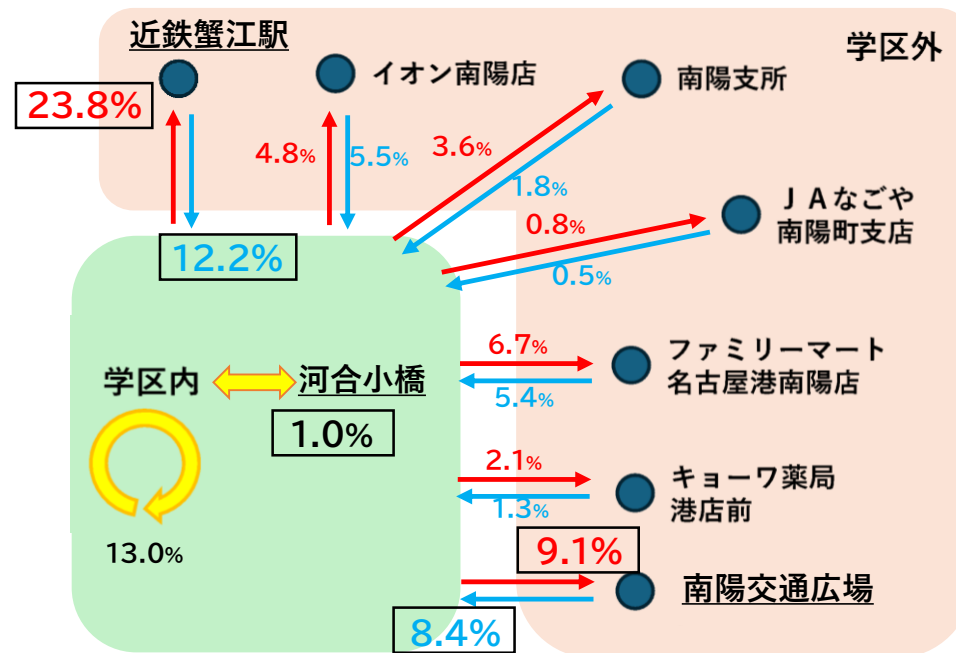
➤ 幹・枝の補完・連携の機能を担ったものと認識

○ 地域内における移動

- ・ 地域内移動は、交通結節点（近鉄蟹江駅、南陽交通広場）に関する移動に次いで多い

➤ 地域内々の移動を一定程度担ったものと認識

ODの割合



西福田Dバスは、葉の交通としての役割を一定程度担ったものと考えられる

■地域の主体性

既存の地域団体が主体となって、計画から利用促進等まで積極的に取組を実施

○計画の段階

- ・学区連絡協議会への事前協議等により、円滑に地域の意思決定を実施
- ・学区内乗降場所の計画から地先調整まで実施

※学区外の乗降場所は、地域の声の反映等について、よりデータ等に基づき議論する必要があった

○運行、利用促進の段階

- ・利用促進のためイベントの開催や他団体との連携を実施
- ・定期的な運行レポートの作成と学区内周知を実施
- ・運行開始後も含め定期的な地域内打合せを実施（令和7年度は35回実施）

新たな移動手段導入に関し、**地域が主体的に取り組むことができた**

※ただし、地域主体の取組の持続可能性を高めることが求められる

■ 令和 7 年度実証実験の決算

収入	金額（円）	割合（％）
公費（国・市）	48,499,932	96.9
運賃収入	538,300	1.1
その他	1,000,000	2.0
計	50,038,232	100

支出	金額（円）	割合（％）
運行経費（予約オペレーターを含む）	17,093,560	34.2
利用促進・利用者アンケート調査等	20,794,762	41.5
A I ・ W e b 予約サイト開発等	10,799,910	21.6
その他	1,350,000	2.7
計	50,038,232	100

■ 参考

延べ利用者 1 人あたりの運行経費	4,721 円／人
-------------------	-----------

- ・ 4,721円でタクシーによる約 8 kmの移動が可能
（西福田Dバスの 1 運行あたり走行距離は約 3 km）